

## 保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果（公表）

この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

公表：令和 2年 3月23日

事業所名 児童発達支援 あゆみ教室

保護者等数（児童数） 33 回収数 33 割合 100 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	32	1			・子どもの人数によると考えます	・活動に応じて部屋を変える等工夫を行っています
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	26	2		5	・職員の配置数は増やしたほうがよい ・子どもの人数によると考えます	・指定基準は満たしています
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	31	1		1	・自分の子どもの目線を親から見た状況で回答しています ・道具置きにもその子の顔写真が用意しており、子どもでも判断できて良いと思う	・当日のスケジュールを個々に文字、イラスト、写真で掲示指定しています
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	33				・空間に合わせた活動のようにも感じるがおおむね可と感じる	
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	28	2		3	・おおむね可と感じる	・保護者のニーズに応じて作成しています
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	28			5	ガイドラインを知らない為回答不可	・家族支援、地域支援の項目を今後設定していきたい
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	30	2		1		・職員全体で取り組んでいます
	8 活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	25	4		4		・担当を定期的に交代し、相違工夫を行っています
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	9	3	5	16	・まだ子どもが通園していない ・あゆみ教室利用中に関しては交流困難と考えます ・他の療育園との交流は初めて参加しましたが楽しかった	・個人情報の保護から教室全体での活動は難しいため個別での活動になっている

保護者への説明等

10	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	33					・入室決定後に行っています
11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	31	1		1	・おおむねと考える	
12	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング*4等）が行われているか	20	2	1	10	・OTより説明を受けている	
13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	31	1		1	・分離時の様子を教えてもらえるのでありがたい ・気になったこと、成長の過程でのことを、その都度聞けたり出来るのでありがたいと思います	・保護者と分離で行った活動は口頭や記録表にて伝えています
14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	30	1	1	1	・何気ない会話の中でも励ましの言葉を頂くことがあった	・保護者からの質問についてはその場で答えたり職員間で話し合い後日に答えています
15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	9	2	7	15	・母子分離の間などに保護者同士で話をすることが出来ます ・分離の時間はお母さんとの情報交換が出来るとても良い時間です ・参加していないため不明です	・父母の会等はありませんが保護者同士が情報交換が出来るよう母子分離を行い支援しています
16	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	30			3	・わからないができていと推測します	・保護者からの質問についてはその場で答えたり職員間で話し合い後日に答えています
17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	28	4	1			
18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	12	3	2	16	・口頭で丁寧に連絡等していただいています	・平成30年度よりアンケートの結果を公開しています
19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	32			1		・職員全体で注意しています

非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	8	4	9	12	・週2回のためわかりません・私達は知らない為いいえと回答します	・今後周知を徹底していきたい
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	9	3	9	12	・知りません	・今後避難訓練への参加を促したい
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	30	3			・毎回喜んで通っています。活動中もとても楽しんでいる姿がたくさん見られるので嬉しいです ・毎週楽しみにしています ・毎回ルンルンできていて親としても嬉しい ・毎週毎週楽しみに来ています。他の子を見たり関わったりするのも本当に楽しそうです ・先生やお友達との関わりがとても楽しくてしかたないようです	
	23	事業所の支援に満足しているか	30	3			・多くの子どもがいる中で一人一人を丁寧に見て活動課題をしていただいております ・子どもの性格が変わりました。うれしいです。	・職員全体で取り組んでいきたい

\*1 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

\*2 「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

\*3 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

\*4 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。